ストップ！「医療崩壊」

地域医療の充実を 国立病院の機能強化を求める 国会請願署名

衆議院議長　殿
参議院議長　殿

請願趣旨

新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の感染拡大は国民の生命と生活に深刻な影響をもたらしました。

新型コロナに感染しても、受け入れる病院・病床、スタッフの不足等の医療体制のひっ迫した状態が続き、療養施設や自宅待機を余儀なくされ、入院できぬまま亡くなるという痛ましい事例も相次いでいます。まさに「医療崩壊」の危機に直面する事態となったのです。

さらに、コロナ禍において、受診や入院が激減し、多くの医療機関において経営が圧迫され、危機的状況に陥っています。医療従事者の心身の疲弊も深刻化し、使命感だけで働き続けることは困難となりつつあります。

これまで国立病院・国立高度専門医療研究センター(以下、国立病院)では、がん・救急医療等の地域医療、筋ジストロフィー・重症心身障害等の政策医療などとあわせて、新興感染症や大規模災害等国の危機管理に際して求められる医療などを提供し、地域医療を守る役割を担ってきています。

新型コロナによる未曾有の医療危機に直面し、全ての国民のいのちと生活を守るためには、平時からの国立病院の機能強化は必至と考えます。

しかし、国立病院の診療事業に対する国からの補助金（運営費交付金）は、現在はまったく支出されていません。そのため、採算のとれない結核病床等は大きく削減され、医師、看護師などの医療スタッフも、ギリギリの人数しか配置されておらず、新型コロナ対応においても、看護師の応援体制や派遣が必要となりました。このような状況では、患者・国民のいのちがさらなる危険にさらされることも否めません。

「医療崩壊」を防ぎ、国民のいのちを守るための危機管理は国の重要な責務です。新興・再興感染症の拡大、大規模災害等の緊急事態が発生した場合でも国民と地域医療を守る万全の体制をとるため、今こそ国立病院の機能を強化させる時です。そのために下記の事項を請願します。

請願項目

❶コロナ等の感染症や大規模災害から国民のいのちを守るため、国立病院を機能強化すること。

①国の責任において、国立病院に「新興・再興感染症対策」に十分に対応できる専門病床を設置し、人工呼吸器やECMO（人工心肺装置）等の医療機器の整備をすすめること。

②「大規模災害」等の発生時においても、患者・国民に万全な医療が提供できるよう国立病院の機能強化を図ること。

❷国立病院の機能強化を図るために、医師、看護師をはじめ、全ての職員を増員すること。

❸国立病院の機能強化に必要な財源は、国の責任で確保すること。

氏　名	住　所 （住所は都道府県から所番地まで省略せず、正確に記入をお願いします。「〃」「同上」などは使用不可となります）
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

※署名用紙に記入された氏名・住所は、請願として国会に提出する目的以外に使用することはありません。

取扱団体　全日本国立医療労働組合（全医労）
〒170-0005　東京都豊島区南大塚1-48-3
TEL 03-5940-8600　FAX 03-5940-8601

ストップ！「医療崩壊」地域医療の充実を

国立病院の機能強化を求める 国会請願署名

新型コロナ拡大により医療機関はひっ迫し、自宅の療養や入院・療養施設待機者が増加の一途をたどっています。受け入れ先の病院がなく、救急車内で待機を余儀なくされるなどコロナは勿論、その他の疾患を抱える多くの国民が必要な医療を受けられない状況です。政府は国民のいのちより医療費削減を優先し病床削減をすすめてきました。今こそ医療提供体制の改善に向け、国民全体で声を上げていくことが必要です。

今まさに、新型コロナのような新興感染症や大規模災害など国の危機管理に対する国立病院の役割強化が強く求められています。国民と地域医療を守る万全の対策をとるために、国が責任をもって国立病院の機能強化を図るよう求めます。

新型コロナ緊急実態アンケート

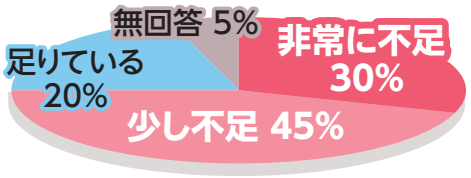
2021年全医労実施

患者のいのちを守るためには普段から余裕のある人員配置が必要です

個人調査 2,419人/そのうちコロナ病棟職員230人

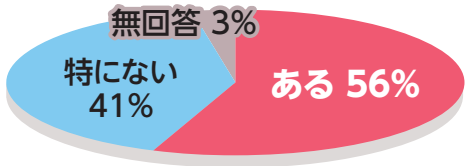
Q 現在人員は足りていますか?

A 75%が人員不足を訴えている



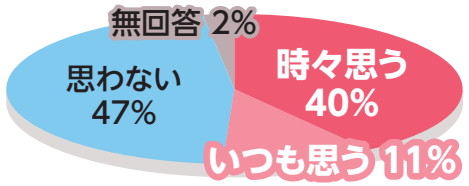
Q コロナに関連して心身の変調はありますか?

A 心身の変調ストレス増加「変調あり」56%



Q コロナに関連して辞めたいと思うことがありますか?

A 一般病棟を含め全体では4割の看護師が辞めたいと回答 コロナ病棟看護師に限ると仕事を辞めたいと思う 5割超



人員不足でみんな疲弊している

防護具を装着しての看護 呼吸が苦しく頭痛がする

使命感だけでは、患者さんの命は守れない

全日本国立医療労働組合(全医労)